

幼児の自由撰擇につきて

東京女子高等師範學校
附屬幼稚園保姆

池田とよ

一、自由撰擇は幼兒をして其意の向ふ所に従ひ其製作結果の如何を決して問はず、遊び其物に本眞劍たらしめんが爲に企しものにして外遊、畫方、積木、排方、豆細工、摺紙、縫取、織紙、(粘土は整頓上其性質を異にせるを以て省きたり)につきて絶對に幼兒の自由撰擇に任せたり。

一、其方法としては室外に之等の凡てを準備し置き幼兒をして隨時、其欲する其材料を取らしめ定められたる各兒の席にてなさしめ、同一の材料のものゝみを一机に纏むるが如きことをなさず、即ち周圍の如何に關せず己の撰びしものに

注意を集注せしむる習慣を得しめんが爲なり。
一、自由撰擇の度數を成べく多からしめんとせしも種々なる關係上、意の如くならず、又此記載は單に十二月十一日より同十九日の間に於ける僅か七回に涉りしものにして、且つ其記載には大に注意を拂ひしも多人數に關することゝて、殊に繼續時間記載に於て不正確にして、記載洩等あり、然し大體の傾向を知るを得べく不正確なるは其儘を記す、又表中の數字は凡て實數を表はせり。

第一表

畫方	增永 山口博 田中實 中村木下 小松澤 柳增田 山本棟方 榎田 小立 今村 柴田 早川 計
八	四
二	二
六	二
一	三
三	二
四	三
五	二
二	五
五	六
七	六

第三表

兒男

畫方	多 及 小 最 小	大 最 小	間 續 時 最 大	間 續 時 (分)					數 回	間 時	數 回	間 時	數 回	間 時	數 回	間 時	數 回	間 時	數 回	間 時	數 回
				第 七 日	第 六 日	第 五 日	第 四 日	第 三 日													
稚小 子瀧	70	20	70	31			70	30	20	22											
達森 子谷	20	30	20	30			30	25	30		20										
三 缺 席	25	30					30	20													
秦鑄 子木	35	60	10	60			35	40	10	60	35	15									
一							55	25	10	60	30	10	25								
祥齋 子藤		7	70					7	70												
五																					
恒中 子山	30	10	70	10	60	55	70	30		30		23									
壽櫻 賀井		8	55	15			55	35	8	32											
二																					
あ高 や島	30	35	15	70	15			30	35												
五																					
お宮 や永		32	45	45	35	32															
一	30	45																			
梅岡 照	70	10	70	30	45	35	70	30	70	29											
四																					
千奈 代佐	20	5	40	40			20	30													
三																					
吳芳 江	20	12	35				35	20	20	12	17										
八 缺 席																					
喜岩 代崎	25	40	60	25	75		55	60	45	40	30	25	47								
一																					
林あ い	45	30	70	45	45		70	30	55	36											
三																					
す井 口		13	70	45	50		70	30	40	37											
五																					
ひ堀 で																					
三	70	3	85	3	35	65	70	30	85	60											
四																					
計	30	3	85																		

第二表

工ル撰ノ於 ノ手擇テ日 回技シ自由幼 數手タニニ兒 外織縫摺豆排 遊紙取紙工方 木		七 日 間 積
		二
		六
		一
		四
		五
		九
		五
		二
		二
		八
		六
		一
		五
		六
		三
		四
		三
		四
		二

第四表

女 兒

日	積	排	方	木	於	幼	兒	於	テ	幼	兒	積	木	工	手	技	手	工	織	紙	外	遊	
第一	二																						
第二	24																						
第三	38																						
第四	30																						
第五	20	13																					
第六	25																						
第七	25																						
全	216	138	180	150	180	150	180	150	180	150	180	150	180	150	180	150	180	150	180	150	180	150	180

第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七
18	27	38	30	20	13	10
40	30	40	30	40	30	40
25	30	40	30	25	30	40
15	23	15	15	40	45	40
60	60	60	60	60	60	60
24	20	40	40	35	25	35
28	20	35	35	35	35	35
30	30	30	30	30	30	30
22	35	35	35	25	25	25
20	35	20	35	30	30	30
20	35	35	35	35	35	35
85	85	85	85	85	85	85
68	68	68	68	68	68	68
17	20	20	20	15	15	15
85	85	85	85	85	85	85

一、第一表、第三表は遊びの各種につきて各兒の之を撰擇せし回数を示せるものにして、之を横に比較することを得るも縦に比較することを得

す、如何となれば文字は凡て實數を表すものにして幼兒の中には其日によりて缺席せしものあるを以てなり。

第二表第四表は第一日より第七日迄の間に於て幼児の手工手技を撰擇せし回数及其時間を其日によりて表はせしものにして比較法は第一表第三表に同じ。

一、第一表、第三表に於て各遊びにつき撰擇せられし度数及順序左の如し(縦に比較するを得ず)

畫方		外遊		豆細工		織紙		積木		排方		摺紙		縫取	
六	六	六	六	六	六	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一
畫方		外遊		豆細工		織紙		積木		排方		摺紙		縫取	
四	四	三	三	三	三	九	九	六	六	五	五	一	一	一	一
畫方		外遊		豆細工		織紙		積木		排方		摺紙		縫取	
三〇	三〇	四	四	四	四	三	三	七	七	五	五	一	一	一	一

一、第二表、第四表に於て其繼續時間の最大、最小、最多次の如し。(單位、分)

兒男			兒女			全體		
最大	最小	最多	最大	最小	最多	最大	最小	最多
八五	三	三〇	八五	五	三〇	八五	三	三〇

一、自由撰擇は幼児をして絶對に自由ならしめしものにして各兒其意に従ひて撰擇し、全く自己の興味を中心として他を顧慮することなく其欲する所に向ふが故に、本眞劍なる心の態度を養ひ得る點に於て效果あり、然れども注意すべきは設備と人數とにあり、隨時、隨意の材料を撰擇するにあれば多少の混雜は免れざるも、之をして成べく小ならしむる方法を講せざるべからず殊に机は成べく小にして各兒の欲する場所に自ら運び、他の妨害を避けて靜かに落付きてなす様にせば一層よろしからん。人數多き時は混雜しやすく、注意亂れやすきを以て、自由撰擇の時、室内に於て手技手工をなさんとするもの餘りに多き時は適當の方法を以て少人數となす必要あり。

又自由撰擇の場合にありては他の場合に比して指導に困難なり。